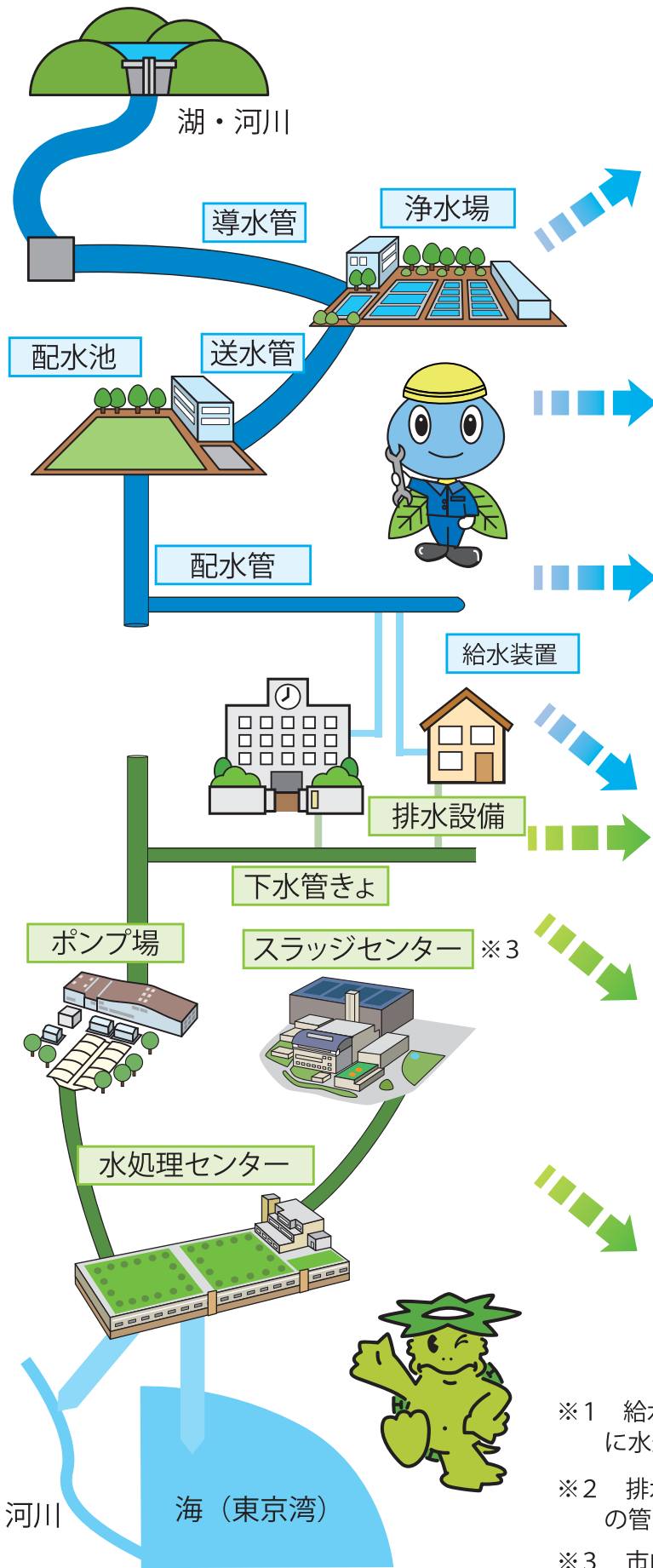


# 老朽化した施設の再整備 ～ 将来にわたり市民の生活を守るために ～

川崎市の上下水道は、快適な市民生活を守るため、中期計画（平成26年～28年度）に基づき老朽化した施設の更新を進めています。更新にあたっては、東日本大震災や過去の震災を踏まえ、地震等の災害に強い上下水道を構築し、市民の安全を守るとともに、環境にも配慮した事業を進めています。



川崎市の基幹的な浄水場である長沢浄水場を更新しています。将来の水需要予測に基づき、他の浄水場を廃止し、事業規模をダウンサイジングしています。

配水池は浄水場で作った水道水を一時的にためておく施設で、生田配水池、末吉配水池の更新や鷺沼配水池の耐震補強などを進めています。

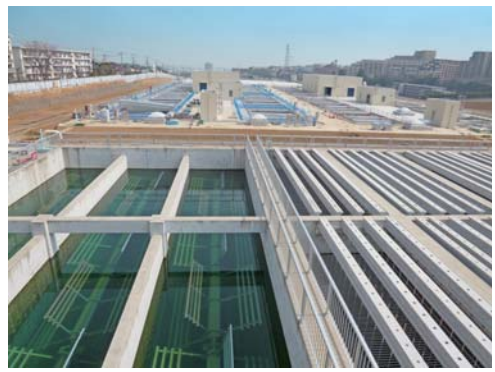
水道水を各家庭までお届けする水道管は、市内一円の道路下等に埋設されており、優先的に老朽化した水道管の更新を行い、60年サイクルで更新できるように計画的に進めています。更新時には、地震に強い水道管に取り替えています。

給水装置※1や排水設備※2は、お客さまの所有物であり、原則として、お客さまが維持管理を行います。

老朽化した管きよをそのままにすると、破損による道路陥没などの原因となるので、管きよの状態を確認しながら更新を進めています。更新にあたっては、市民生活に影響を与えないよう道路を掘らない工法などを採用し、耐震化も進めています。

ポンプ場・水処理センターなどが老朽化して機能なくなると、下水が溢れたり、川や海の状態悪化に繋がるので、施設の更新を進めています。更新に併せて、耐震化、地球温暖化対策や機能の高度化を進めています。

- ※1 給水装置とは、水道の配水管から、各家庭に水道水を取り入れるための給水管等です。
- ※2 排水設備とは、各家庭から汚水等を下水道の管きよに流すための排水管等です。
- ※3 市内の水処理センターから送られてくる下水汚泥を集約処理（濃縮・脱水・焼却）している施設です。



長沢浄水場沈でん池（更新後）



生田配水池更新工事



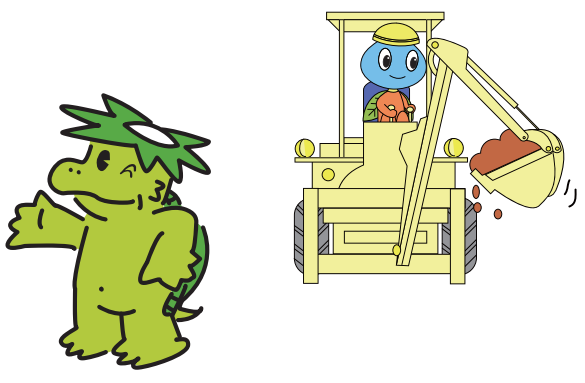
配水管布設替工事



入江崎総合スラッジセンター汚泥焼却施設更新工事



下水道管きよ更生工事



水道計画課 ☎ 044-200-2497 FAX 044-200-3943  
 下水道計画課 ☎ 044-200-2886 FAX 044-200-3980

お引越しが決まりましたら、お引越し日の4～5日前までにお客さまセンターにご連絡ください。